



金子中学校新北校舎

のいるま 市議会 だより

No.162

平成25年2月
定例会号
2013年5月1日発行

2月定例会

平成25年度予算を原案可決	2P
定例会議決結果	8P
11名が一般質問	9P
改選後の初議会、議員紹介	15P
市民の声、ミニ情報	18P

第1回定例会

トピックス

2013.2

平成25年度 一般会計予算 373億5000万円

平成25年第1回定例会は、2月4日から2月27日までの24日間開催され、提出議案37件について審議されました。
内容としては、委員会提出による条例2件、規則1件、市長提出による人事案件2件、条例7件、一般議案5件、平成24年度補正予算10件、平成25年度当初予算10件であり、すべての議案が原案のとおり可決されました。

予算

平成25年度の一般会計当初予算は、前年度対比2.7%減となりましたが、市長から施政方針として、以下の趣旨の提案理由が説明されました。

歳入は、その根幹となる市税収入が回復せず、引き続き財源不足となる見込みです。このため、臨時財政対策債、適債事業の活用及び財政調整基金からの繰り入れにより財源不足の調整を図りました。歳出は、継続事業の武蔵中学校の校舎改築工事、子ども医療費の入通院無料化を中学校3年生までとするなど、事業の継続性、公約事業の実現化等を考慮し編成しました。

一般会計

▼ 討 論 ▲

反対討論

（日本共産党
入間市議会議員団）

長引く不況の中で市民生活はますます厳しくなっている。働く人の所得は最高時に比べ1世帯当たり102万円減っているのに対し、大企業の経常利益は1.6倍、内部留保は267兆円に。デフレ不況の最大の要因は企業の収益が上がっても働く人の所得につながらないことである。

国の悪政から市民を守るために、国の言いなりではなく住民の立場で国に意見をあげるべき。25年度予算では、共産党市議団が一貫して求めてきた子ども医療費中学校卒業までの無料化や学校耐震化の前倒し、国保会計への繰り入れなど、市民の要望が一部反映されているものの、その他の課題で懸念せざるを得ない。以下、具体的に反対の理由を指摘する。
①行政改革長期プラン。②65歳以上の個人市民税の年金天引き。③証券優遇税制による市民税の徴収。④埼玉西部消防組合負担金。⑤道路橋りょう費。⑥商工業振興費の特定地域工場設置事業等補助金など。

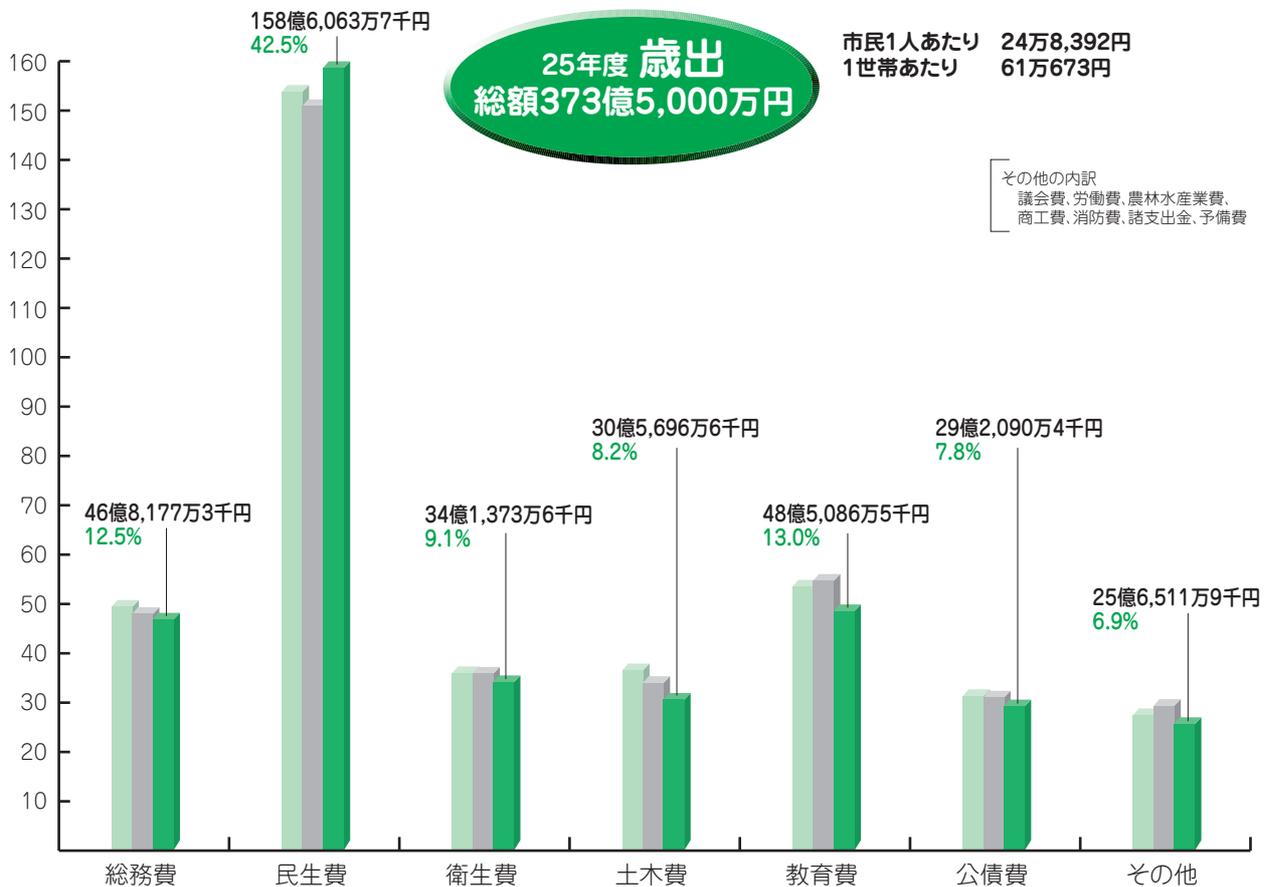
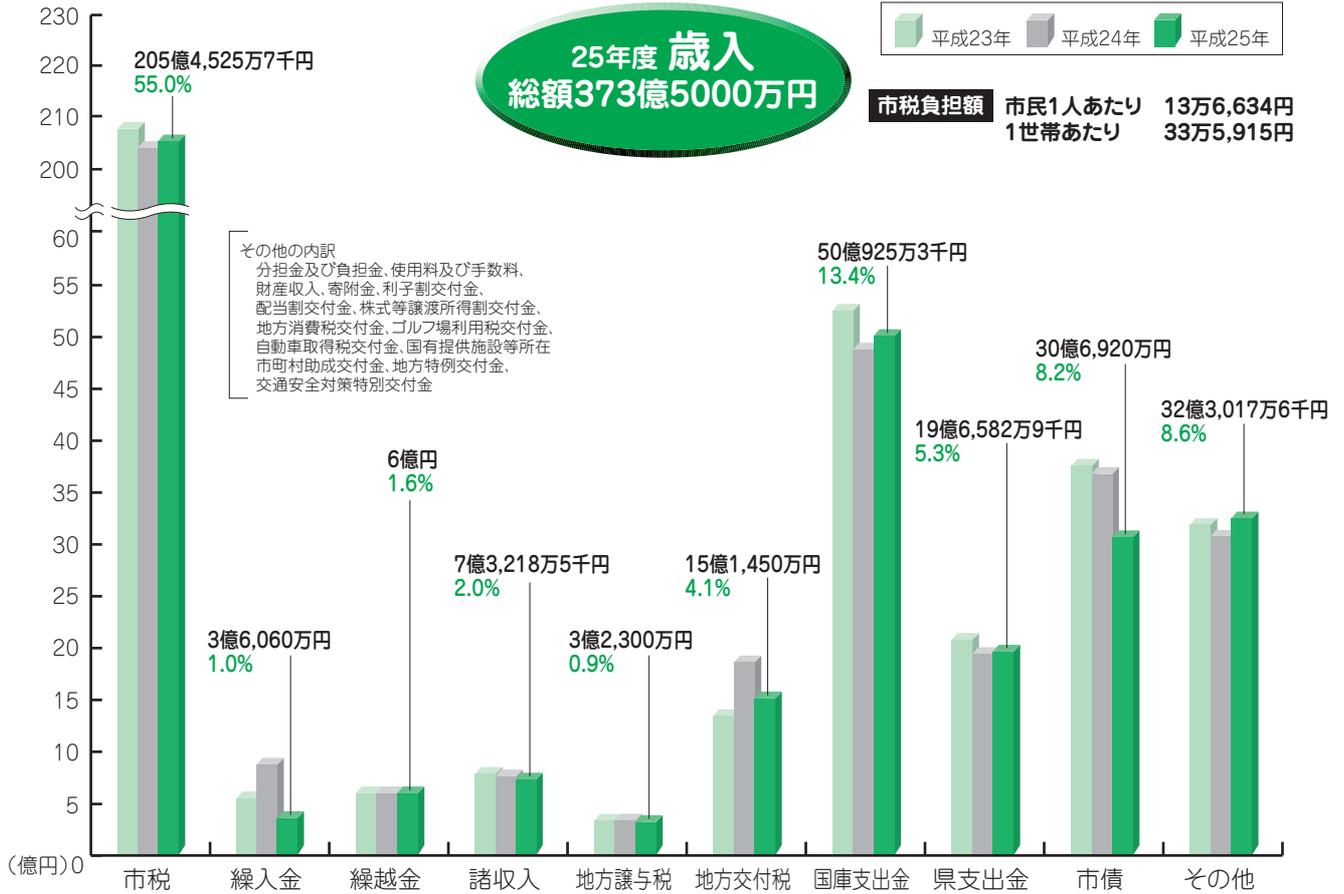
賛成討論

（保守系入間）



国の新年度予算編成が大幅に遅れている状況から、入間市の一般会計予算が緊縮的な予算となることは、やむを得ないと理解する。市税等の自主財源は僅かながら増加の見込みで、国の経済対策等を勘案すると適正な予測と評価する。地方交付税は適正な見込みと考えるが、需用額の減額に対しては早急な検討を要する。武蔵中第2グラウンドの一部売却等公有地の売却は、代替え条件等の確実な実施を前提として、やむを得ないと考える。埼玉西部消防組合には、市民の安全安心のまちづくりに大きく貢献する組織となるよう期待する。
財政調整基金の残高約8億1千万円や、水道事業会計への償還金3億円の返済先送りは、大きな不安要素である。歳入予算が確実に確保されるのか状況を逐次捉えながら予算執行されるよう望む。平成25年度の財政運営は多難と思われるが、新たな息吹が感じられる市政運営を期待し本予算に賛成する。

一般会計予算 自主財源237億4,211万8千円 依存財源136億788万2千円



平成25年1月1日現在 人口150,367人 世帯数61,162世帯

反対討論(みらい市民クラブ)

子ども医療費の支給対象拡大について、予算に影響する形で条例改正案に対する修正案を提出した。主張の一貫性の確保等の観点から、関連する当該予算案についても反対する。当該事業にかかる財源調達見通しの速やかな明示を強く望む。

なお、これ以外の部分については、以下の指摘事項を付するもの、おおむね了承する。

指摘事項は、非常に厳しい危機的な財政状況を踏まえ、①施策選択、財源配分にかかる「優先順位付け」の見直し、②学校教育のさらなる充実、③「負担と給付」の見直しと市民合意の形成努力、④財政健全化、行財政改革の着実な推進、⑤8年度までの期間にわたる「中期財政計画」の速やかな策定、の5点。

議会を傍聴しましょう

議会は住民の、住民による、住民のためのものです。次回の定例会は6月に開かれる予定です。



賛成討論(公明党入間市議員)

昨年12月に自公政権が発足し、長くデフレ経済の脱却を最優先に緊急経済対策が進められている。結果として、為替レートも円安傾向に推移し、輸出産業は軒並み赤字から黒字収益に上方修正している。企業は為替差益の処分として、内部留保にまわすのではなく従業員の給与改善や設備投資に配分すべきである。

25年度予算では、市長選の公約である子ども医療費の無料化を中学三年生まで拡大することは評価できる。さらに、消防の広域化について組合が設立されるがスケールメリットを充分発揮してもらいたい。

シルバー事業の見直しについては、代替案が確立するまでは、現行制度の存続を求める。県からの事務移譲については毅然とした対応を願う。田中市長がめざす充実した生活都市・入間市をめざし第5次総合振興計画・後期実行計画との整合性に配慮し、継続的な事業の効率的運営を求め賛成討論とする。

賛成討論(保守系クラブ)

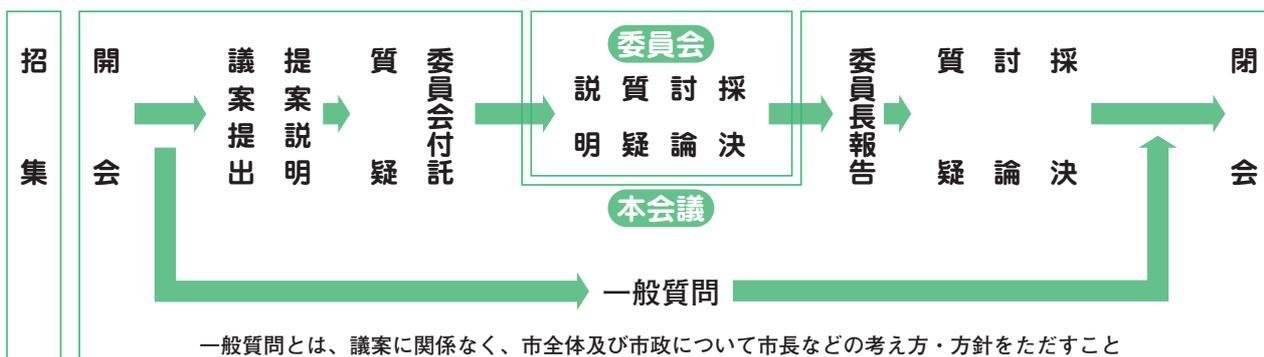
「市民のために汗を！ 市民のための市政に！」として、入間市民から大きな期待が寄せられている田中市長の、強い姿勢が見える予算で、まずは順調なスタートを切った。

市長公約として、市長給料50%、副市長給料30%の削減は、自ら「範を示す」姿勢が示されて、熱いメッセージを市民・職員に投じたもの。子ども医療費の中学生までの無料化は、他市に遅れた状況を解消している。図書館の開館時間の延長は、市民サービスの点から評価できる。

その他では、小・中学校の校舎耐震化は、前倒しして対応され、屋内運動場の耐震化も計画的である。「市民目線」に立って、柔軟な姿勢で、市民サービス向上を図るとともに、厳しい財政状況の下、第5次総合振興計画に掲げる理念に基づき、行財政改革の推進を図りつつ、田中市長の市政の標語「充実した生活都市」を目指し、強力なリーダーシップを期待して、賛成する。



会議の順序



特別会計

▼ 討 論 ▲

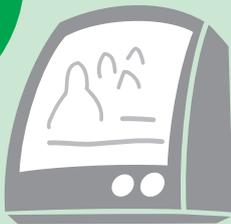
反対討論

(日本共産党
入間市議会議員団)

(国民健康保険特別会計)

現在の国保の問題点は、国庫支出金の割り合いが、入間市で一九八〇年には54・56%だったものが、二〇一一年には22・28%にまで下がってしまったことによる。入間市が国保への繰り入れを行って市民の負担軽減を行っていることは評価するが、反対の理由は資格証明書を発行して

入間CATVで
本会議を
全面放映
しています



- 放映チャンネル
111チャンネル
- 放映時間
議会開催日の午後6時から

いることである。受診抑制を引き起こす資格証明書発行はやめるべきである。

(後期高齢者医療特別会計)

昨年度の改定で、保険料が大幅な値上げとなった。そうした中、滞納者が136人上っている。お年寄りの負担の限界となつている。この制度は高齢者だけではなく、高齢者を扶養している現役世代にも重い負担を強いている。75歳以上の高齢者を国保から切り離し、「保険料引き上げが、医療の制限か」という「選択」に追い込む制度には反対である。

賛成討論 (保守系入間)

(国民健康保険特別会計)

経済情勢の悪化に伴い保険税収入の確保が難しく、財政基盤が脆弱になつていと理解する。徴収事務が収税課に移管され税収の確保に努力されることを望む。人間ドックや特定健康診査等の事業は、予防は最大の医療であるとの考えから、市民全員の健康管理の充実を図り、医療費の削減に繋がると確信する。新たに設置された社会保障制度改革国民会議の動向を見極め、持続可能な国保運営のため最大限の努力を期待し、賛成する。

(後期高齢者医療特別会計)

歳入は、保険基盤安定繰入金及び広域連合の運営にかかる事務費繰入金が主なもの。歳出は、広域連合への納付金及び保険料徴収事務に係る費用で、制度を着実に運営していくため必要かつ妥当な予算である。引き続き制度の周知等を行い、医療費の適正化対策、収納率向上対策などに努めることを要望し、賛成する。

賛成討論 (公明党入間市議員団)

(国民健康保険特別会計)

医療需要の高い高齢者や低所得階層の世帯が多く加入している制度。歳出の98%が医療給付費であり削減ができない。いかに、安定財源を確保するかが課題である。加入者の過重な保険税に頼ることもできず、一般会計からの繰り入れ金に偏重することも、被用者保険制度とのバランスを考慮すると、おのずと限界がある。従って、制度への国庫負担割合を強化することでしか構造的な課題を解決することはできない。そのような歳入環境のなかで、制度の健全性が求められていることに鑑み、予防は最大の医療との観点から、市民の健康管理に関する事業の展開について医療費の抑制の視点から検診事

議会のしごと(権限)

議会には、次のような権限

《やくわり・仕事をする事ができる範囲》があります。

- 議決権 条例の制定や改廃、予算などを決めます。
- 同意権 主要人事(例:副市長、教育委員等)の選任に対して同意するかどうかが決めます。
- 調査権 議決により、市の事務に関する調査を行い、記録の提出を請求したりすることができます。
- 選挙権 議長、副議長、選挙管理委員等を選挙します。
- その他 決定権、検査及び監査請求権、説明請求及び意見陳述権、意見表明権、自律権、承認権、報告・書類受理権、請願受理権などがあります。

業については人間ドック・脳ドックの助成事業に加え、がん検診等の更なる勧奨・啓蒙の努力を期待する。各種の検診受診率の向上について、健康いるま21で掲げる数値目標達成へ創意工夫を求め賛成討論とする。

平成25年度入間市特別会計予算一覧表

会 計 名	予 算 額	前年度比較 増減率 (%)
国民健康保険特別会計	170億2,164万9千円	2.9
後期高齢者医療特別会計	13億2,301万7千円	6.8
介護保険特別会計	73億1,079万7千円	9.9
下水道事業特別会計	21億9,636万6千円	△6.7
武蔵藤沢駅周辺土地地区画整理事業特別会計	1億2,547万円	△29.9
入間市駅北口土地地区画整理事業特別会計	6億1,000万円	13.0
扇台土地地区画整理事業特別会計	4億9,620万円	1.1
狭山台土地地区画整理事業特別会計	2億7,522万8千円	△32.8
総 額	293億5,872万7千円	3.3

賛成討論（保守系クラブ）

（国民健康保険特別会計）

医療費は年々増加し、極めて厳しい財政運営を余儀なくされており、その増加抑制が喫緊の課題である。

歳出で、特定健康診断事業と人間ドック・脳トックの、受診率向上は、健康保持、疾患の予防と早期発見につながる。歳入で、払税力がありながら滞納する、一部の滞納者に毅然とした態度で対処を願う。

市民のため、国・県に財政支援強化を求める等を期待し、賛成する。

（後期高齢者医療特別会計）

この制度は5年が経過し、現在では広く市民に理解が得られている。歳入で、保険料や保険基盤安定繰入金等を、歳出で、運営主体の埼玉県後期高齢者医療広域連合への納付金等を計上しているが、制度運営のため必要な予算計上と考える。

対象者が高齢者であり、特に親切丁寧な対応に努め、保険料未納者については、状況把握に努め適切な対応を図るよう要望し、賛成する。



賛成討論（みらい市民クラブ）

（国民健康保険特別会計）

被保険者の高齢化、医療技術の高度化に伴い、年々医療費は増加している。一方、経済状況の回復は身近に感じられず、保険税収入の確保が厳しい。保険税負担の公平性の観点から、引き続き丁寧かつ積極的な収納体制に期待する。

反対の理由として挙げられている資格証明書の発行は、あくまで納税が滞っている方との相談する機会の確保の手段として理解する。

当該会計は母屋である一般会計と共に大変厳しい財政状況である。財政状況の実状と今後の見通しについて周知を図る必要がある。平成25年度の早い時期に市報や市のホームページへの掲載を図るなどの市民の皆様への周知を要望し、賛成討論とする。

条例

新規条例

議案第8号	入間市農業体質強化基盤整備促進事業分担金条例	全員一致で原案可決
議案第11号	入間市新型インフルエンザ等対策本部条例	全員一致で原案可決
委員会提出 議案第1号	入間市議会政務活動費の交付に関する条例	全員一致で原案可決

議案第8号

入間市特産である狭山茶の生産には防霜ファンの設備はなくてはならないもので、茶生産者から、老朽化した防霜ファンの更新を望む声が多く寄せられています。国の実施要綱に基づき、入間市農業体質強化基盤整備促進事業として、茶園の防霜ファンの更新及び新設事業を実施します。受益者の農業者から事業費の2分の1の分担金を賦課、徴収するため、地方自治法第228条の規定により、分担金条例を制定するものです。

議案第11号

新型インフルエンザ等対策特別措置法で、「市町村対策本部に関し必要な事項は、市町村の条例で定める」旨が規定されており、全5条の構成で入間市新型インフルエンザ等対策本部に関して定めたものです。第1条は、この条例が法に基づくものであること、第2条は組織について、第3条は会議について、第4条は対策本部に部が設置できること、第5条は必要な事項は本部長が定めることを規定するものです。

全部・一部改正条例

議案第5号	入間市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数で原案可決
議案第6号	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第7号	入間市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
議案第9号	入間市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	賛成多数で原案可決
議案第10号	入間市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
委員会提出 議案第2号	入間市議会委員会条例の一部を改正する条例	全員一致で原案可決
委員会提出 議案第3号	入間市議会会議規則の一部を改正する規則	全員一致で原案可決

議案第5号

入間市職員の休憩時間を廃止し、それに伴い休憩時間が現行の45分から、1時間に拡大され、勤務時間の就業を15分延長し、午後5時までから午後5時15分までとなるものです。「休憩時間」とは、労働基準法で義務付ける無給の「休憩時間」とは異なり、勤務時間に参入する有給の休憩です。また、移植療法のドナーとなる場合に取得可能な特別休暇に「骨髄若しくは抹消血管細胞を提供する場合」とし取得対象を拡大します。

議案第9号

通院に係る子ども医療費の支給について、対象年齢を「9歳まで」から「15歳まで」に拡大するものです。
入間市子ども医療費の支給に関する条例（昭和48年条例第27号）の第2条第5号並びに第3条第3項及び第4項を削り、「入院」・「通院」いずれも15歳に達する日の属する年度の末日までにある者が対象となります。
この条例は、平成25年4月1日から施行します。

平成25年2月定例会 議決結果

賛否の分れた議案

表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員、欠は欠席の議員

議案番号	議案名	保守系入間							公明党入間市議団			日本共産党入間市議会議員団			保守系クラブ		みらい市民クラブ		独歩の会		賛成		反対		議決結果
		平山五郎	友山信夫	近藤常雄	宮岡幸江	齋藤國男	小島清人	堤利夫	永澤美恵子	金澤秀信	向口文恵	石田芳夫	安道佳子	吉澤かつら	小出亘	金子俊雄	駒井勲	宮岡治郎	山本秀和	関谷真奈美	塩屋和雄	横田淳一			
市長提出議案	5	入間市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	4	原案可決
	9	入間市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	18	2	原案可決
議員修正案		入間市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例に対する修正案	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	2	18	否決	
市長提出議案	25	平成25年度入間市一般会計予算	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	14	6	原案可決	
	26	平成25年度入間市国民健康保険特別会計予算	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	16	4	原案可決	
	27	平成25年度入間市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	16	4	原案可決	

全会一致の議案

議案番号	議案名	
1	入間市副市長の選任について	
2	入間市教育委員会委員の任命について	
3	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	
4	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	
6	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	
7	入間市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	
8	入間市農業体質強化基盤整備促進事業分担金条例	
10	入間市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例	
11	入間市新型インフルエンザ等対策本部条例	
12	市道路線の廃止について	
13	市道路線の認定について	
14	市道路線の認定について	
15	平成24年度入間市一般会計補正予算（第5号）	
16	平成24年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
17	平成24年度入間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
18	平成24年度入間市介護保険特別会計補正予算（第2号）	
19	平成24年度入間市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	
20	平成24年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	
21	平成24年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	
22	平成24年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	
23	平成24年度入間都市計画事業狭山台土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	
24	平成24年度入間市水道事業会計補正予算（第3号）	
28	平成25年度入間市介護保険特別会計予算	
29	平成25年度入間市下水道事業特別会計予算	
30	平成25年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	
31	平成25年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計予算	
32	平成25年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計予算	
33	平成25年度入間都市計画事業狭山台土地区画整理事業特別会計予算	
34	平成25年度入間市水道事業会計予算	
提出議案委員会	1	入間市議会政務活動費の交付に関する条例
	2	入間市議会委員会条例の一部を改正する条例
	3	入間市議会会議規則の一部を改正する規則

請願を提出される方へ

市政についての希望や意見を請願書として議会に提出することができます。

請願は、憲法で保障された住民の権利であり、住民の希望を直接市政に反映させることができます。

市議会へ請願をしようとする時は、次の要領で提出してください。

1. 邦文を用いて、件名、趣旨、提出年月日、住所、氏名（法人の場合には、その名称及び代表者氏名）を記載し、請願者が押印してください。
2. 請願書には、紹介議員1名以上の署名、または、記名押印が必要です。
3. 内容が2件以上にわたるときは、1件ごとに提出してください。
4. 道路・下水道等具体的な場所に関するものについては、略図等を必ずつけてください。
5. その他不明な点については、議会事務局へお問い合わせください。

☎2964-1111
(内線5112・5113)

副市長

友山宏一氏

教育委員会委員

青山友子氏

議会の運営

議会は、定例又は臨時に、一定期間開かれます。定例会は、毎年4回、3月・6月・9月・12月に開きますが、このほか必要があるときは臨時会が開かれます。

会期中には、本会議や委員会が開かれます。本会議は、全議員が出席して、議会の最終意思を決定する会議です。

委員会は、本会議で決定する前に、いくつかの部門にわかれて専門的に審査する会議です。

地域福祉基金約1億5000万円の年度別利子額

年度	利子額
平成13年度	42万8239円
平成14年度	3万5782円
平成15年度	4万752円
平成16年度	4万2895円
平成17年度	6万1310円
平成18年度	21万8017円
平成19年度	56万1530円
平成20年度	53万4396円
平成21年度	74万6467円
平成22年度	29万9077円
平成23年度	33万1289円
平成24年度（見込）	13万4129円
平成25年度（予算）	4万6000円

・03%の収益で社会福祉協議会及び入間市老人クラブ連合会などの福祉

質問 地域福祉基金1.5億円の25年度利息は、わずか4.6万円、利率0.03%の収益で社会福祉協議会及び入間市老人クラブ連合会などの福祉に充てられる。73億円の学校耐震化と武蔵藤沢駅周辺・狭山台・野田土地区画整理事業、総額337億円、市費221億円が終了する。この三区画整理の市費投入額はいくらか。

市長 学校耐震化は27年度で終了、残りの市費投入額は25年度末で7.9億円となった。

Question 1

耐震と三区画終了を医療無料化に

石田 芳夫議員

Question

一般質問

Answer

2月定例会の一般質問は、質問者11名により2月18・19・20日の3日間行われました。
※質問・答弁内容は質問者本人が要約したものです。

質問 日本の戦後の成長を支えてきた高齢者には、健康で文化的な生活はどこにあるのだろうか。高齢者を宝とみるのか、お荷物とみるのかによって施策はまったく異なってしまう。年金が減らされ、生活不安が増すなかで、長生きをすることが喜びとなる基礎である「高齢者医療費無料化」を実施すべきだ。

市長 東京の日の出町は、大型ショッピングセンター進出などで増収となり、21年度から高齢者医療費無料化を実施。入間市は高齢化が進み多額の費用が必要でできない。

市長 20年以上、大口預金として活用され、福祉全般に使われた。県内では入間と川口市にある制度だ。廃止し750万円ずつ使っても20年も使える。国からのペナルティは不明だが指摘を受け、制度廃止を検討する。

Question 2

平和・青少年政策・高齢者支援

吉澤 かつら議員

質問 入間市は1995年に「平和都市宣言」を行った。①これまでの平和事業への評価は。②原発も原爆も認めない平和な自治体を目指すべき。核廃絶を強くアピールするため、これまでの宣言を発展させて「非核平和都市宣言」にすべきでは。

市長 ①入間市の平和事業は評価できる。これからも事業を推進していきたい。②この宣言は普遍的・恒久的なものであり「非核平和都市宣言」に変えるつもりはない。

質問 ①航空士官学校→ジョンソン基地→入間基地となったその間の基地にかかわる事件・事故は。②士官学校設立時の用地買収の経過について、まとまった資料はあるのか。

市長 ①基地に関わる事件・事故をまとめたものはない。まとめたものも必要だと思う。②用地買収については半強制的だったと思われるが、資料が処分され残っていない。

質問 青少年がいきいきと活動できるよう文化・スポーツ・余暇活動への支援が必要。①青少年のニーズ調査を行うべきでは。②公園を活用した青少年むきのイベントを開催し青少年の交流の場として提供すべき。

教育長 ①たしかにニーズ調査は必要。検討していきたい。②そうしたこと今後、研究していきたい。

質問 要介護認定者も税金の申告時に障害者控除が受けられる。お年寄りを支援するため対象者全てに障害者控除対象者認定書の自動発行を。

市長 自動発行は考えていない。

県内で非核平和都市宣言 をしている自治体

熊谷市、行田市、本庄市、春日部市、
鴻巣市、深谷市、上尾市、北本市、
富士見市、三郷市、三芳町、寄居町、
嵐山町、小川町、鳩山町、横瀬町、
皆野町、美里町など

Question 3

仏子駅前の改善、エアコン設置

小出 亘議員

質問 福島第一原発事故は未だ収束にはほど遠く、放射能の拡散が続いている。一度起これば取り返しがつかないことを明らかにした。この事故の教訓をどのようにとらえているか。

市長 原発事故の被害は甚大で、二度と起こしてはならない。将来的に原発依存から脱すべきと考える。

質問 エネルギーに支払う代金はほとんどが地域外に出ていってしまう。自然エネルギーへの切り換えで地域にお金が回る地産地消のエネルギー政策を実施している自治体がある。入間市も研究に着手しては。

市長 具体的な方法があれば提示してもらいたい。

質問 西武線仏子駅は、駅前広場もなく、車での送迎時など大変使いづらいとの声を聞いている。改善の見通しは。

市長 仏子駅前道路も狭く改善の必要があると考える。研究していきたい。

質問 夏期の小中学校の教室は、大変な暑さで、これまでの質問で市長、教育長が限界に達していると認めている。市内でエアコンの設置されている学校と設置されていない学校がある。公平さの確保という点からも早急にエアコンの設置が必要ではないか。

市長 今は財源的に厳しい。

質問 財政が同程度の自治体も実施している。やるかやらないかでは。

市長 教室に行き実情を把握する。



市立仏子小学校

Question 4

観光行政とシルバーサービス券

齋藤 國男議員

質問 観光を推進するために入間市に道の駅を含めた観光物産販売所の設置を。①道の駅を含めた観光物産販売所を実現させるための施策は。②道の駅を含めた観光物産販売所はどのような場所が考えられるか。また、その具体的な販売内容はどのようなものが考えられるか。③市長公約に掲げている河川の遊歩道と組み合わせて設置できないか。



遊歩道ができるといいな

市長 入間市ではこれまで観光客を呼び込むため、入間万燈まつりを始め納涼花火大会のイベントや、特産品の狭山茶等PRをしてきた。また、大型商業施設の買い物客を中心市街地、博物館、ジョンソントウなどに誘導する取り組みもしてきた。しかし、観光客の増加には至っていない。平成25年度より商工課に担当を設け観光資源の精査をしたい。①道の駅とは、ドライバーの休憩施設を言う。観光の拠点として場所と財源が必要。②国道16号沿いが最適と考えている。他に場所があればそれも可能である。狭山茶、地元野菜、沿道サービス等を含めた複合的な物産販売所にしたい。③河川の遊歩道と道の駅が連携できれば可能である。

質問 シルバーサービス券について。①利用者はどれくらい。②補助金、助成金は。③必要か、不必要か。
市長 ①約1万5千人位の利用者がいる。タクシー券の利用者が一番多い。②利用者の補助金、助成金はなく、73歳以上の方に交付するものである。③平成28年度に廃止予定。

Question 5

賃貸住宅家賃補助で住まい確保を

安道 佳子議員

質問 公営住宅は法制度の改悪で新規建設は行わないため、応募倍率は大変で住宅に困っている人の需要を充足できていない。入間市でも希望しても入居出来ない状況があるのでは。入間市の市営住宅、県営住宅の現状はどうか。

市長 今年度、市営住宅を希望した23世帯で、入居出来たのは2世帯のみ。県営住宅は県内491戸の空きに2千563件の申し込みがあり、5倍の倍率と入居が厳しい状況にある。



県営住宅向原団地

質問 公営住宅に希望しても入れない実態がある。公営住宅の家賃は所得に応じているが民間では負担が重い。やむなく民間住宅に入居せざるを得ない場合、生活の厳しい人向けの家賃補助など検討すべきでは。

市長 家賃補助は当面考えていない。入間市市営住宅ストック総合計画25年度見直しのなかで、高齢者向け、単身者向け、子育て世帯向け住宅の確保など対策を検討したい。

質問 後期高齢者医療保険料が値上げされ、介護保険料の値上げと両方年金天引きされ生活が厳しいとの声がある。減免制度の活用と拡充を。
市長 減免制度は周知しなかったが、今後、市報やホームページでお知らせしたい。軽減・減免制度は現状のまま様子を見たい。

質問 東町豊岡第一病院そばの踏み切り拡幅と歩道の整備の見直しは。
市長 歩道もなく幅員も十分でないので危険な踏み切りとの認識だ。鉄道会社・国と協議し検討したい。

Question 6

幼稚園就園奨励費の問題について

向口文恵議員

質問 年少扶養控除が廃止されたことで、「私立幼稚園就園奨励費」で混乱が生じている。同じ収入でも住民税が上がることで、就園奨励費がもらえない、減額となる現象がおこることがあり、政府は救済策を示している。当市が選択した方式では子どもが三人以上いる年収680万以上の世帯で影響を受けることになる。

①影響を受ける世帯は②対応策は。

教育長 ①50世帯52人が該当する。

②一定のモデル世帯を想定し、負担が生じないように見直す方式を採用。その理由としては、近隣の自治体と歩調を合わせたこと、年収も680万円以上であること、当市独自の1万7千円の補助があることによる。

質問 他市がどうであろうと、昨年と同年収でありながら、もらえないというのは一般の常識からしても納得がいかない。子どもが三人以上いれば教育費もかかる。当市独自の救済策を検討すべきではなかったか。

教育長 財源の問題もあり、今年度は政府の対応もあるが検討する。



混雑する入間市駅南口ロータリー

質問 入間市駅南口ロータリーは、相変わらず自家用送迎専用スペースがなく混雑して危険である。以前にも質問しているが解決策は。

市長 これから、整備をしていく。交差点の進入、出口の車線の変更、植栽をなくし歩道を切り下げ、障がい者用、送迎車用乗降場所も確保していく。

『その他』
親しまれる愛宕公園への改善へ

Question 7

狭山丘陵近隣の環境対策を

永澤美恵子議員

質問 トトロの森で有名な狭山丘陵は保全運動が広がり、県民の憩いの場となっている。しかし日照権やアライグマの被害など丘陵北側の入間市民の生活が脅かされている一面もある。①市民の生活環境を守るよう県に要望すべきでは。②アライグマ対策等を専業農家だけでなく市民全体に拡大すべきでは。

環境経済部長 ①現状を把握し県に要望する。②積極的に行っていく。



宮寺地区にある「さいたま緑の森博物館」

質問 調布市でアナフィラキシーショックによる死亡事故が発生した。事故防止対策として①食物アレルギーの児童に対して成分表まで提示した献立表は作成されているか。②日常対応や事故後のマニュアルを作成し学校全体で研修を徹底すべきでは。③エピペン講習の徹底と学校保管の重要性を国に要望すべきでは。

教育長 月に一回、担任、養護教諭、栄養士と保護者で面談を行っている。②マニュアルは全校作成済み。事故後、全学校で研修を行った。③養護教諭まで研修は終了。今後、全教職員に実施し、エピペンの学校保管の重要性を国に要望していく。

質問 発達支援法の制定により指導法など日々変化している。「元氣キッズ」においても大切な幼児期の子供たちの療育に対し、発達支援事業をリードする事業展開を行うべき。

健康福祉センター所長 努力する。

質問 集団生活訓練を保育所入所の形態ではなく事業内で行うべき。

健康福祉センター所長 検討する。

行き止まり私道に補助金制度を

金澤 秀信議員

質問 延滞金徴収条例の制定を。
企画部長 各条例で規定する方向で検討する。

質問 行き止まり道路であるために市道に受け入れて貰えず、長年砂利道で住民が苦勞している私道に対し、地元業者を活用する舗装整備への補助金制度を創設し、市内経済の活性化を図れないか。

市長 原則行き止まり道路への補助はできないが、かなり年数の経過している私道については現場をみて個々に判断する。

質問 危険な横断歩道の事故を防止するために、武蔵藤沢駅横の建武橋に歩行者用トンネルの設置を。

市長 築70年の老朽化した橋でもあり、県による橋の強度調査の結果、架け替え等の診断ができれば、県にトンネル設置の要請を行う。

質問 介護保険の認定有効期間の延長による経費削減を。

福祉部長 ご提案も含め、適正な執行と経費削減に努力する。



東藤沢7丁目の砂利道の私道を市長と共に現地視察

質問 発達障害支援員については現場からの要請人数と配置されている人数にかなりのかい離がある。早急に支援員の増員をすべき。

教育長 現状の12人から重度の児童数分の17人への増員を目指す。

質問 県立狭山特別支援学校の手狭解消の為、今年3月閉校予定の入間高校の校舎活用を。

市長 今後検討し、必要があれば県に要請する。

バス停整備とがん検診対策を

堤 利夫議員

質問 「ていーろーど」のバス停整備について、民間活力の導入を。地域貢献を望む企業から、費用負担をお願いして、バス停整備をする。企業のロゴマークを掲示し、企業の宣伝を可能にすることで企業としてメリットとなり、利用者にも喜ばれ、市としても財政負担がない。真冬の寒風や、真夏の炎天下のなかでバス待ちの苦勞を和らげる為に、民間活力を考えるべきではないか。

市長 利用者の利便性を考えると必要である。設置には国の基準を満たす必要があるが、協力してくれる企業もあると思うので、まずは現地調査をして、可能な場所の特定をして、企業に働きかける。

質問 平成23年度の5大がんの検診率は決して高い数字とはいえない。がんの宣告を受けた患者の苦悩は大きい。家族の経済的負担に関する不安や仕事に対する不安等肉体的、精神的な負担は計り知れない。健康だから検診を受ける必要性を勧奨・啓発すべきである。今は、早期発見で6割が完治する時代である。検診内



環境整備が待たれるバス停

容によつては要精密検査の割合も高い。市として、検診率向上対策として、推進協議会を設置し、取り組みが必要かと思うが。

市長 確かに高い検診率とはいえない。市民の健康管理のために、現在の取り組み以上の対応が必要と思うので、少し時間をいただいで、研究していく。

Question 10

中橋・地域経済・旅券の発給業務

宮岡 治郎議員



中橋は、歩道の拡幅や切下げが、補強工事と共に見込める。

質問 入間川に架かる中橋について。①耐震診断の日程と内容は。②長寿命化計画の策定は。③歩道の拡充は修繕と両立するか。④国の『防災・減災対策』の対象となり得るか。

都市建設部長 ①平成25年度に実施、落橋防止や橋脚補強等。②本年度中完了する。③歩道拡幅や切下げと併せた方が経済的で、両立する。④国庫補助事業として実施できる。

質問 入間市地域の経済について。

①宮寺の大型商業施設の影響は。②新政権の景気対策への期待は。市としての、③雇用対策や④企業誘致は。

環境経済部長 ①市内には既に大型店が30以上ある。法人市民税、知名度上昇等の波及効果も。年間60万人以上の集客の、市内への誘導が課題。②製造業中心の、地域経済の好転を期待。③合計16の事業を行っている。例として、近隣の6大学と企業合同説明会の開催、シルバー人材センターへの補助、『ふるさと八口ワーク』の国への誘致要望がある。

④工業団地の空地は少なく、物流関係の大規模用地の問い合わせはある。

質問 旅券の発給業務について。

①県内の権限移譲の自治体の現状は。②市の申請・交付の窓口開設の予定は。③利用する市民の見込み数は。

市長 ①条件が撤廃され、全市町村で可能となった。30市町村が移譲済。②平成26年度中。経費一部は県より交付される。私の選挙公約の休日開庁でも検討。③県の資料では、入間市民の申請実績は年間5千件。

Question 11

財源配分の「優先順位」見直しを

山本 秀和議員

質問 入間市の学校教育における現状認識と課題は。

教育長 子ども未来室事業、小中連携教育等により、故郷を愛する心の育成、知徳体の向上が進んでいる。「日本一の教育都市」をめざし、学力、教育の質の向上に向け、さらに施策推進を図りたい。

質問 入間市が直接被災する場合

だけでなく、「南海トラフ巨大地震」のような遠隔地・広域災害により影響を受ける場合も考慮し、多面的な備蓄確保を検討する必要があると考えるが、見解は。

市長 流通備蓄の協定締結先・数量等の拡充、物流事業者等との連携、市民・自主防災会への備蓄呼びかけ、緊急輸送道路の点検整備等を検討。

質問 学校以外の公共施設について、耐震化の取り組み状況は。

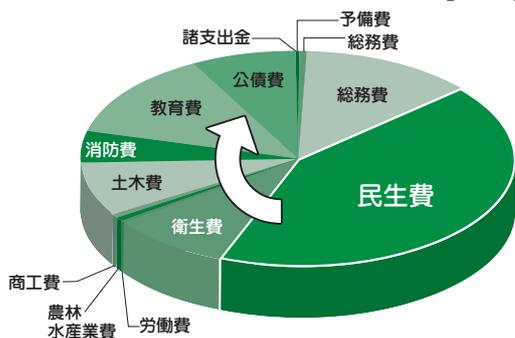
市長 市役所本庁舎・市民会館・市民活動センター・市民体育館等6施設で耐震診断を実施した。いずれも耐震性不足と指摘され、市民体育館以外の施設については、新年度に

耐震二次診断を実施予定。黒須・高倉・東町公民館も耐震性不足のため、今後方向性を検討。

質問 財政の持続可能性、子どもたちの未来、市民の安心安全の確保等の観点から、施策選択・財源配分にかかる「優先順位」を見直すべきと考えるが、見解は。

市長 事務事業評価、行政改革で対応してきた。平成26年度予算編成に向けて、さらに見直しを進める。

平成25年度 入間市一般会計【歳出】



民生費(福祉経費)が歳出の40%以上。今後、人口高齢化によりさらに増加します。一方で、歳入の劇的な増加は見込めないため、矢印の方向へ他の政策分野を圧迫することになります。

第2回臨時会

改選後の初議会

3月29日の任期満了に伴う市議会議員一般選挙は、3月17日に投票が行われ、新しく22人の議員が誕生しました。

また、改選後の初議会を4月11日に開催しました。

議会人事

議長に

宮岡 治郎氏

副議長に

永澤美恵子氏
を選出

改選後の初議会において、正副議長選挙、議席の決定、常任委員等の選出を行い、さらに議会選出監査委員の選任議案に同意しました。



就任のあいさつ



議長 宮岡 治郎氏



副議長 永澤美恵子氏

四月臨時会において、議長ならびに副議長に就任いたしました。市民の皆様への負託に応え、公正で公平な議会運営に努め、分かりやすい議会を目指してまいります。議会の役割は、地域住民の声を市政に反映させ、行政施策の監視機能を発揮することです。従来から取り組んできたさまざまな議会改革を議員各位との連携と協力により深め、開かれた議会を更に進めてまいりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

監査委員に

近藤常雄氏

埼玉西部消防組合議会議員

向口 文恵 宮岡 治郎
近藤 常雄

埼玉県都市競艇組合議会議員

金子 俊雄

入間西部衛生組合議会議員

安道 佳子 末次 正
山本 秀和 平山 五郎
駒井 勲 金子 俊雄

瑞穂斎場組合議会議員

小出 亘 永澤美恵子
杉山 捷治

総務常任委員会

◎横田 淳一 ○杉山 捷治
安道 佳子 末次 正
山本 秀和 野口 哲次
平山 五郎 近藤 常雄

都市経済常任委員会

◎小島 清人 ○鈴木 洋明
吉澤かつら 関谷真奈美
金澤 秀信 駒井 勲
金子 俊雄

福祉教育常任委員会

◎向口 文恵 ○紺野 博哉
小出 亘 石田 芳夫
松本 義明 永澤美恵子
宮岡 治郎

議会運営委員会

◎平山 五郎 ○横田 淳一
安道 佳子 吉澤かつら
向口 文恵 関谷真奈美
金澤 秀信 小島 清人
駒井 勲

議会広報委員会

◎小島 清人 ○末次 正
安道 佳子 関谷真奈美

議会図書室運営委員会

野口 哲次 鈴木 洋明
紺野 博哉 杉山 捷治
横田 淳一

議会防災検討委員会

小出 亘 末次 正
松本 義明 野口 哲次
駒井 勲

農業委員会委員

吉澤かつら 金澤 秀信
横田 淳一 小島 清人

◎は委員長 ○は副委員長

～ 凡 例 ～

抱  写真

会派名・(※) 氏 名
住 所
負 電話番号

※()の内数字は当選回数



日本共産党入間市議団 (2)
小出 亘
仏子1170-4
☎2932-7884

小中学校へのエアコン設置、介護保険料・国保税の負担軽減などの公約実現のためにがんばります。



日本共産党入間市議団 (3)
安道 佳子
久保稻荷4-4-18
☎2962-8082

くらし福祉応援で年を重ねても安心してくらする人間市をつくれるようみなさんと力を合わせ頑張ります。



日本共産党入間市議団 (3)
吉澤 かつら
豊岡4-6-18
バーデンハイム1-203
☎2964-0208

福祉充実、安全なまちづくりで、子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる人間市をめざします。



日本共産党入間市議団 (10)
石田 芳夫
上藤沢688-8
☎2964-4048

小中学校へのエアコン設置、安心して長生きできるなど、生活支援のまちづくりに全力を尽します。



公明党入間市議団 (1)
末次 正
南峯258-2
☎2936-0869

市民の生活と安全のために、「町の御用聞き」として、「一人の声」を市政に届けてまいります。



公明党入間市議団 (2)
向口 文恵
上藤沢406-14
☎2965-0170

一人一人の声を大切にして、健康で住みよい街づくりに全力投球してまいります。



みらい市民クラブ (3)
山本 秀和
東町4-3-5
第2田中荘201
☎2962-0360

「未来」に視点を置いて、こどもたちの夢が叶う教育と、健全で自立した行財政運営に取り組みます。



みらい市民クラブ (1)
松本 義明
宮寺2925-204
☎2934-4308

すべては入間市の未来のために！福祉の現場経験を活かしたまちづくりをみなさんと一緒に取り組みます。



みらい市民クラブ (2)
関谷 真奈美
上藤沢247-12
☎2962-3213

次世代に受け継がれる農業政策を提案します。市民の皆様に関心を持っていただける市政を目指します。



公明党入間市議団 (3)
金澤 秀信
東藤沢4-7-3
☎2965-8587

「奉仕と感謝」を胸に、市民の皆様への命と健康・暮らし・安心安全を守る為に、全力で働いて参ります。



市民フォーラム (4)
野口 哲次
春日町2-14-7-311
☎2963-0309

誰もが住みよいまちづくりに向け、行政改革を進め財源をつくり、福祉、教育の施策を充実します。



員

介

これからの
の抱負！

～任期～

平成25年3月30日
から
平成29年3月29日
(4年間)

～定数～
22人

今こそ、前進するとき。みなさんの声を市政にとどけ「安心・安全のまちづくり」を目指します。



入間自民クラブ(1)
紺野 博哉

東町5-6-10
☎2962-0415

みんなで創ろう！いるま新時代をスローガンに元氣とパワーと明るさを入間市の未来に使って参ります。



入間自民クラブ(1)
鈴木 洋明

下藤沢859
☎2964-3549

ひとりの声に真剣に耳を傾け、希望の持てる街、努力が報われる社会の構築をめざしてまいります。



公明党入間市議団(3)
永澤 美恵子

二本木518-4
☎2934-4659

市民の皆様の声聞き、行政に反映し、行政の監視役として安心して暮らせる街づくりを目指します。



入間自民クラブ(2)
小島 清人

河原町8-5
フォルム飛和201
☎2965-0543

市民の皆様の声市政へ反映し、安全で・心豊かな地域社会、「元氣な」街づくりを目指します。



入間自民クラブ(2)
横田 淳一

野田677
☎2932-2502

市民の声を市政に届け、民意を反映できる入間市を創る。



入間自民クラブ(1)
杉山 捷治

扇台5-9-10
☎2964-2344

みんなで創ろう、安全安心な入間市。市民目線に立って、住み良い街づくりをめざし、行政改革を進めます。



入間自民クラブ(6)
駒井 勲

豊岡3-3-17
☎2962-2218

市民の多様な意見を尊重してまいりました。暮らしに柔軟に対応できる、入間市議会と市政を目指します。



入間自民クラブ(5)
宮岡 治郎

仏子357-1
☎2932-1166

市民の安全安心を守り行政改革を始め環境教育福祉の充実、地域の整備等入間市を元氣な街にします。



入間自民クラブ(3)
平山 五郎

南峯367-2
☎2936-0758

議 紹

聞いて
みました!

会議の様子がご覧いただけるおもな方法

- 傍聴
市議会の本会議は公開されており、誰でも傍聴できます。事前予約は不要です。当日、市庁舎5階の西側エレベーター前にある傍聴受付で住所・氏名・年齢等を記入のうえ、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。定員は先着60人です。
- ケーブルテレビ放映(録画放送)
議会開催日当日の午後6時から、入間ケーブルテレビ「111チャンネル」で、本会議の様子を録画全面放送しています。
- 会議録
入間市議会図書室、市役所1階市政情報コーナー、市立図書館本館で会議録が閲覧できます。また、市議会ホームページでも閲覧できます。

環境・教育・福祉の充実に努力し、安全・安心で暮らせる街づくりを市民の皆様と協働で築いていきます。



入間自民クラブ(6)
金子 俊雄

小谷田1421
☎2962-3620

地域社会創造の為、市民力・地域力を高め、協働で安全・安心な元氣な入間を前進させます。



入間自民クラブ(6)
近藤 常雄

宮寺1899-5
☎2934-2311



野田 長谷川浜子

PTA活動を通して

私は、この入間で生まれ入間育ちの入間っ子です。
私の子どもが、私の母校に通う時はとても懐かしく嬉しかったのを覚えています。

私も子どもと一緒に楽しむ気持ちでPTA活動に参加させていたいただきました。先生方の生徒への思い、考え方など身近に知ることができとても良かったです。学校、地域の方々と連携し生徒達が安全により充実した学校生活となるよう皆で協力し取り組んできました。私自身も沢山の事を学び、何より活力をいただけたい気が致します。

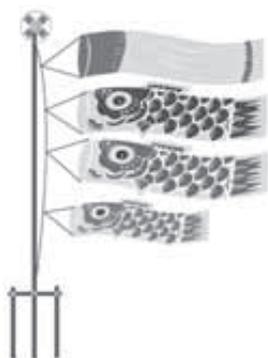
こうした活動も、入間っ子を思う気持ちから大勢の方々のご協力やご理解が得られ成り立っているのだと感じました。地域の子ども達から高齢者まで人を思いやる優しい心を大切に、絆が広がっていくことを期待します。



仏子 山本文夫(会社員)

夢と緑の文化都市へ スタート!

私が入間に住んで52年となり、かつて平成18年から20年まで第5次「入間市振興計画審議会」のメンバーとして委員をさせていただきました。将来都市像「香り豊かな緑の文化都市」をテーマにかかげA部会所属の私は活発に意見させていただきました。第一節豊かな心ふれあうまち。第二節幸せをわかちあうまち。討議、ディスカッションをし、今後の入間市を幅広く、木下(前)市長を中心に15名の委員で構成する会議でした。その中で体験し学んだ事は、一市民として今後の社会・地域を幅広く共生・共存・共助の社会を始め、文化、教育、産業、その内、地場産業に力を入れる事の大切さを知りました。そうした互助精神を胸に「茶の都いるま」発展のため夢多き入間市を目指し、日夜この町いるま大好きという人がこれからも二陣三陣と増えていくことを、心から祈り期待します。



6月定例会日程案

- 5月29日(水) 開会
- 6月 3日(月) 総括質疑
- 6月 4日(火) 総務常任委員会
- 6月 5日(水) 都市経済常任委員会
- 6月 6日(木) 福祉教育常任委員会
- 6月10日(月) 一般質問
- 6月11日(火) 一般質問
- 6月12日(水) 一般質問
- 6月20日(木) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせ下さい。
2964-1111 内線5112・5113

三二情報

狭山茶と
ふれあう教育

入間市教育委員会では、校長会と協力して、入間市の特性である地場産業の狭山茶を教材にして、ふるさと入間を愛する心の育成に努めています。狭山茶とふれあう教育では、そのねらいとして、お茶とふれあいながらふるさと入間に誇りを持つ子どもの育成を目指しています。また、「日本人の心」の教育の充実を図り、国際化・グローバル化社会をたくましく生き抜く児童・生徒を育成しています。

今年度、新たな取組として市内3つの中学校で、「盆点前」を導入した茶道の授業を実施しました。平成24年度は、上藤沢中学校・東町中学校・野田中学校の1年生約400人が、年間13時間の授業に取り組みました。平成25年度は8校約1000人(上記3校に加えて豊岡中・金子中・西武中・黒須中・東金子中)平成26年度は市内全11校約1400人(上記に加えて武蔵中・藤沢中・向原中)が茶道の授業を実施する予定であります。



議会広報委員会



- ◎宮岡 治郎 ○向口 文恵 吉澤かつら
 関谷真奈美 堤 利夫 横田 淳一
 小島 清人 平山 五郎

◎は委員長 ○は副委員長

訂正 前号(No.161)3ページの条例掲載記事のうち、議案第108号の賛否状況で「全員一致」とあるのは誤りで、正しくは「賛成多数」でした。お詫びして訂正します。